

(8) きんぎょそう

ア 各病害虫の防除

うどんこ病

疫病

褐斑病・さび病

菌核病

炭疽病

灰色かび病

葉枯病

オオタバコガ

ハモグリバエ類

アブラムシ類

ハダニ類

ネコブセンチュウ類

ア 各病害虫の防除

【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

うどんこ病

(耕種的・物理的防除)

- 1 通風を良くし、過繁茂にしない。
- 2 被害残さをできるだけ集め、除去する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 微生物殺菌剤を予防的に散布する。
- 2 薬剤を施用(散布)する。

疫病

(耕種的・物理的防除)

- 1 定植後は排水を良くし、浸水しないようにする。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 床土を消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。
- 2 薬剤を施用(散布)する。

褐斑病・さび病

(耕種的・物理的防除)

- 1 通風を良くし、過繁茂にしない。
- 2 被害残さをできるだけ集め、除去する。
- 3 発生ほ場付近では夏期に栽培しない。

菌核病

(耕種的・物理的防除)

- 1 被害茎は直ちに除去する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発病初期から薬剤を施用(散布)する。
- 2 発病ほ場で連作する場合は作付け前に土壌消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。

炭疽病

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病の甚だしい茎葉は早期に除去する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。

灰色かび病

(耕種的・物理的防除)

- 1 通気を良くし、湿度を下げる。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。

葉枯病

(判断、防除に関する措置)

- 1 ハウス内が高湿多湿のときに多い。

(耕種的・物理的防除)

- 1 被害茎葉を取り除き、処分する。
- 2 施設内の通気を良くし、湿度を下げる。

オオタバコガ

・ [共通防除の章のオオタバコガの防除の項](#)を参照する。

(耕種的・物理的防除)

- 1 食害や糞の近くには幼虫がいる可能性が高いため、発見に努め、見つけ次第捕殺する。
- 2 新芽や花蕾には卵や若齢幼虫がいることが多い。摘心した側枝や蕾はほ場外に持ち出し処分する。
- 3 防虫網などにより施設内への成虫の飛び込みを防止する。
- 4 本種に対しては、防蛾用黄色蛍光灯の夜間点灯の効果が高い。これは、ハスモンヨトウやシロイチモジヨトウなど他の夜行性の蛾にも効果がある。
- 5 蛹化は土中で行われる。発生の多かったほ場では、ロータリーをかけたり、ほ場を冠水したりすることで、土中の蛹を死滅させる。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 2 交信かく乱剤を活用する。
- 3 BT 剤を散布する。
- 4 発生初期から薬剤を施用（散布）する。農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。

ハモグリバエ類

・ [共通防除の章のハモグリバエ類の防除の項](#)を参照する。

(耕種的・物理的防除)

- 1 薬剤防除のみでは防除が困難であるため、耕種的・物理的防除法も組み合わせて実施する。
- 2 成虫は黄色に強く誘引される性質があるので、黄色粘着板を用いて発生をモニタリングし、初期防除を徹底する。
- 3 成虫の侵入を防止するため、施設開口部には防虫ネットを設置する。また、紫外線カットフィルムの利用も有効である。
- 4 ほ場周辺部の雑草などにも寄生するので、特にキク科雑草を除去する等、ほ場衛生に努める。
- 5 収穫後の被害残さは発生源となるので、土中に埋設するか、ビニール被覆し熱処理を行う。
- 6 収穫終了後、地表の蛹の防除対策として、施設を密閉し土壌表面をビニール等で被覆することにより蒸し込む。水分のある植物がない状態で最低地温 40℃以上が数日続けば、蛹はほぼ死滅し、羽化成虫も 1 日で死滅する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生が予想される場合には、薬剤を施用（散布）する。

アブラムシ類

(耕種的・物理的防除)

- 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。
- 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。
- 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。
- 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 くん煙剤の使用については、[共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項](#)を参照する。
- 3 発生が予想される場合には、薬剤を施用（散布）する。

ハダニ類

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 くん煙剤の使用については、[共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法の項](#)を参照する。
- 3 発生が予想される場合には、薬剤を施用（散布）する。

ネコブセンチュウ類

・[共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用（散布）する。